

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりセンター

発行責任者
濱崎博

100号記念

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

自治連総会4月21日開催

活動方針、役員案など審議

日吉台市民センター

令和6年度学区自治連合会通常総会が4月21日午前10時、日吉台市民センターで開催される。6年度通常総会の議案は、5年度学区自治連合会活動報告、決算報告、6年度役員選任案、活動方針案、予算案など5議案となっている。

このうち、役員選任案については、3月2日、各丁から推薦のあった自治連合会担当役員らで互選を行い選任案が決定している。

総会開催にあたって学区自治連事務局は、3月17日に総会に必要な書面表決集計表を各丁の新旧役員に配信、総会議案書、

学区空き家対策事業調査研究報告

活動状況つぶさに調査、貴重な資料

広島県呉市の呉工業高等専門学校（校）の篠部裕教授は、3月3日開催された「2023年度日本建築学会中国支部研究発表会」で、日吉台学区が行う空き家対策事業をまとめた調査研究結果を発表した。発表された事業研究調査報告書は、学区の空き家対策事業の活動状

況を詳細かつ時系列的に記載、学区が今後も活動を続けるうえで参考となる貴重な資料となっている。

同工業高専の篠部教授が主宰する篠部研究室では、今後の空き家問題を解決するためNPO、一般社団法人などが実施する全国の先進地事例の調査、研究

呉工業高専・篠部教授が学会で発表

として取り組んではおりません。

このほか、大規模開発住宅地として取り組んだ空き家対策事業は、先進事例として注目され、各地から視察が相次ぎました。未曾有のコロナ禍では、学区内で行っていた事業、イベント、活動がストップ。人の動きが止まり、あおりをくらって記事薄となり、月1回の発行の日吉台新聞ですが、編集に苦労したことが思い出されます。

コロナ禍が落ち着いた今、各行事イベントも再開されました。学区の最大イベント、夏まつりは、コロナの空白を乗り越え、内容を一新、真夏の熱中症リスクを避け「日吉台まつり」として秋に開催しています。まつりの見直しは、学区住民のみなさんから高い評価をいただき、コロナの空白というリスクをチャンスに

変えることができた好事例と自負しております。

日吉台新聞は、創刊以来1号から100号紙面まで、すべてカラー紙面で学区ホームページに掲載しています、学区の歩み、活動の一旦を垣間見ることが出来ます。

学区の高齢化率は、近年50%を超えるようになり、自治連はじめ各丁自治会、各種団体等の担い手不足は深刻です。自治連合会でも組織改革と負担軽減策を柱とする自治連改革を進めることを発表しましたが学区では、これからもさまざまな課題や新たな問題も表面化してくることで

学区民に役立つコミュニティ紙であることを願ひ発行を続けて参りたいと考えております。

「まとめ」の5項目に整理して記載している。このなかで「活動内容」について、空き家対策の位置づけ、空き家調査、活動の系譜、ワークショップや勉強会、空き家見守りプラン、住まいの相談窓口、空き家駐車場のあつ旋、視察対応など学区が行う空き家対策事業や活動状況を詳細に網羅、紹介している。

調査報告のまとめとして、学区の空き家対策事

この調査研究報告書は、学区ホームページに掲載している。



日吉台市民センターで聞き取り調査をする篠部裕呉工業高専教授（中央）

歩道のある道では
必ず歩道を歩きましょう



夜の歩行時は
明るい色の服・反射材を



下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加



- ◆終端付近見通し不良



制限速度を守り
終端付近では最徐行



在校生の送別の歌を聞く日吉中の卒業生

日吉中学校(松代弘校長)の第77回卒業式が3月12日、同校体育館で行われた。同中の今年の卒業生は269人。朝から冷たい雨の中の卒業式。2年生が在校生として出席できようやくコロナ以前の通常の卒業式の状態に戻ることでできた。

式では、在校生、父母、来賓らの拍手のなか、卒業生らはクラスごとに会場の体育館に入場。名前を呼ばれ一人ひとりが登壇、松代校長から卒業証書

体育館に響くハーモニーと拍手

日吉中学校で卒業式

「白い光の中に 山なみは萌えて 遙かな空の果てまでも 君は飛び立つ」ー。平成3年 埼玉県秩父市立影森中学校長の小嶋登さん作詞、音楽教諭の坂本浩美さん作曲「旅たちの日に」の歌です。未来へ羽ばたく生徒たちへの想いを込めて作られ、今や「蛍の光」や「仰げば尊し」に代わり全国の小中学校の卒業式で歌い継がれる混声合唱曲。春、卒業シーズン、日吉中学校、日吉台小の卒業式でもこの「旅立ちの日に」が歌われ、卒業生らは会場いっぱい美しいハーモニーが響く体育館を後に卒業、巣立っていった。



暗い未来を希望の光で照らす

市立日吉台小学校(石田昌彦校長)の令和5年度第42回卒業式が3月18日、同小体育館で行われ14人が卒業した。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年は在校生の出席を5年生だけに止めていたが5類移行にともない今回から4年生も式に出席した。

式では、父母や来賓、在校生らの拍手のなか、卒業生が入場。卒業証書授与では、一人ひとりが、マイクの前に立ち「勉強、クラブ活動で頑張る」など将来の夢、希望などの決意を力強く述べ、石田校長から卒業証書を受けた。石田校長が式辞で「この場でみなさんは、将来の夢を元気に語っていました。壁にぶつかり、困難なこともありましたが、夢や希望に向かって努力を続けてください」とはなむけの言葉を送った。このあと在校生の送る言葉に、卒業生らが代わるがわる別れの言葉を述べ「旅立ちの日に」を元気に斉唱、6年間の思い出の学校を後にした。

日吉台小に大谷グローブ



日吉台小に届いた大谷グローブ

米国大リーガー、大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈した大谷グローブが日吉台小学校(石田昌彦校長)にも届き、3月1日、同小6年生の卒業生を送る会で披露され、卒業生らがさっそく届いたばかりのグローブでキャッチボールを楽しんだ。

至明こども園で桜植樹



植樹した桜に水やりをする至明こども園の園児たち

「日吉台に100本の桜植樹計画」を進める日吉台花と緑の会(北海彰会長)は3月7日、「日吉台至明こども園」で、園児たちと一緒に桜の苗木を植樹した。

至明こども園の植樹には、同会の北海会長ほか同会員4人、今年卒園予定のキリン組(5歳児)園児9人が参加、園庭南側のフェンスぎわの敷地にジンダイアケボノ桜の苗木1本を植樹した。北海会長ら花と緑の会の会

員らはスコップで穴を掘り、肥料などを入れたあと植え付け、子どもたちは、ジョロでみずやりをし、植樹を終えた。

同会は、この至明こども園の植樹とは別に今年度日吉台小で、枯死した5本の桜の補植を実施。花と緑の会では、日吉台学区で行ってきた桜植樹計画の植樹数が目標を大きく超える120本に達し、今年度限りで植樹計画を一段落させることにしている。

高齢者交通安全教室開催

日吉台市民センター



学区社会福祉協議会のふれあい・すこやかサロン「高齢者交通安全教室」が2月28日、日吉台市民

センターで開かれた。大津交通安全協会日吉台支部が津署交通課の署員を講師に招き、学区の高齢者約51人が教室に参加した。写真。

交通安全教室は、紙芝居で高齢者の道路横断の悪い例と良い事例を提示、解説、説明が行われ、DVDでは、高齢者の被害が多発している特殊詐欺被害に遭遇しないよう注意呼びかけが行われた。

大津市内の昨年(1月〜12月末)の交通事故発生件数は、626件。死者8人、負傷者768人。前年同時期は発生件数605件、死者6人、負傷者752人で事故件数、死者数、負傷者数とも前年同時期を上回っている。

大谷選手は、子どもたちに野球を楽しんでもらおうと全国すべての小学校に3つずつ、およそ6万個のグローブを寄贈。

市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ✓ 夜道も明るくて安心
- ✓ 泥棒に狙われにくい街づくり



・ 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。
・ 電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター